

# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福岡県 芦屋町

人口	16,467 人(H17.3.31現在)
面積	11.42 km <sup>2</sup>
歳入総額	8,128,787 千円
歳出総額	7,837,402 千円
実質収支	125,906 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**  
長引く景気の低迷による税収の減少に加え、町内に中心となる産業がないこと等から財政基盤が弱く、類似団体の平均を下回っている。このため、税収等の徴収率の向上に努めるとともに、人件費の削減をはじめ、扶助費、補助費の見直しや、指定管理者制度の導入などによって経常経費の削減を図るなど、財政の健全化に取り組んでいる。

**経常収支比率**  
今日まで脆弱な財政基盤を競艇事業の収益により補ってきたが、経常収支比率においては、競艇事業の収益が経常的な収入には含まれないため、数値としては100%前後でこれまで推移してきた。しかし、近年競艇事業が景気の低迷とともに、業績も悪化しており、これまでのように競艇事業からの収益を見込むことができないため、行革大綱及び集中改革プランを策定し、経常経費の大幅な削減を図ることとしている。

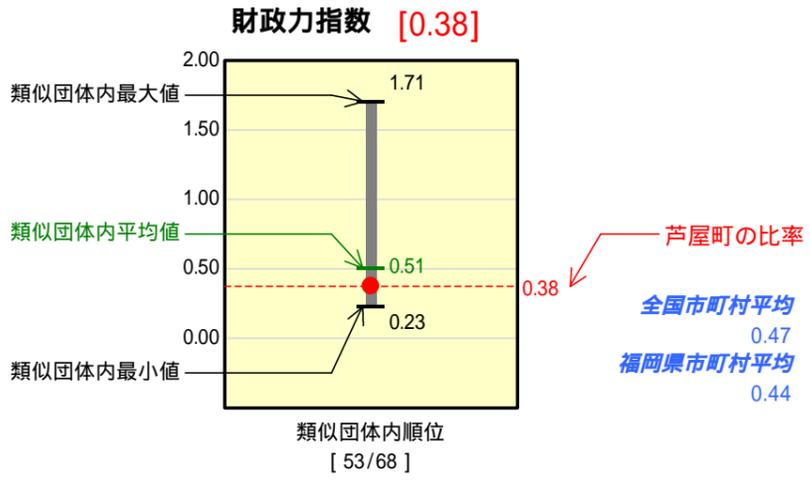
**起債制限比率**  
各種建設事業の財源を競艇事業の収益により賄ってきたため、起債の発行はこれまで抑制されてきており、起債制限比率は類似団体に比べ低くなっている。しかし、平成6年度から借入れている地域総合整備事業債の償還が増加しているため、近年この数値は上昇傾向にある。

**人口1人当たり地方債現在高**  
競艇事業の収益を財源に各種建設事業を行ってきたため、起債残高は類似団体に比べ少なくなっていたが、平成13年度から起債を行っている競艇場の大規模な施設改善事業の影響により、近年急激に起債残高が増加している。このため、人口1人当たりの地方債現在高は、450,297円と類似団体では平均を上回っているが、競艇場の施設改善事業分を除いた場合、199,429円と低い水準となる。

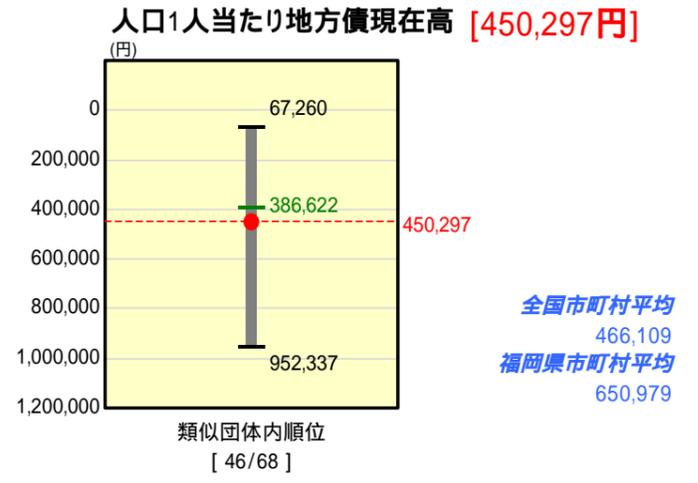
**ラスパイレス指数**  
旧来からの給与体系及び初任給基準が国に比べて高いために全国町村平均を上回る100.6となっている。給与の適正化については、定員の適正化による総人件費の削減と、今後5年間の給料の5.5%のカットを実施し、類似団体平均の水準まで低下させる。

**人口1,000人当たり職員数**  
芦屋町では、他町にない競艇事業、2箇所の保育所等のため同程度の人口規模の町村に比べて職員数が多くなっている。今後5年間の定員適正化計画に基づく退職者不補充や民間委託の推進等により職員数を18.8% (36人) 削減する。

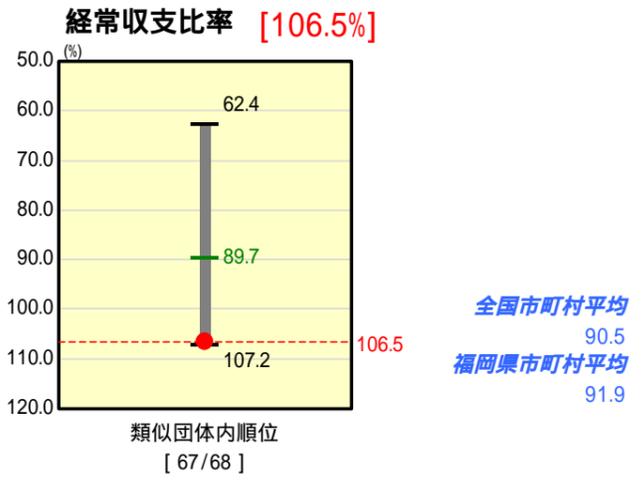
### 財政力



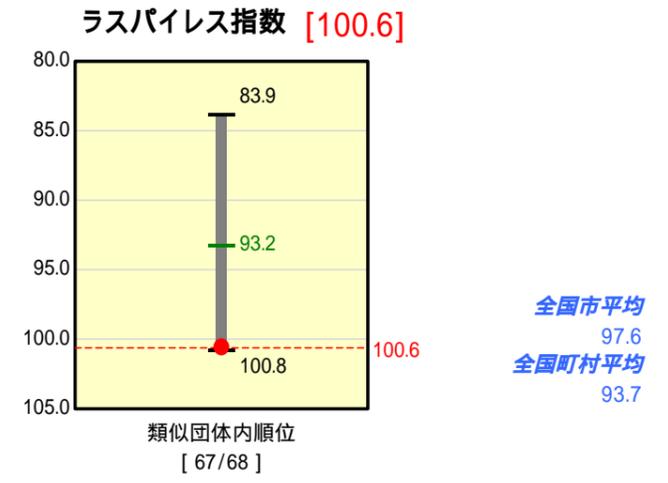
### 将来負担の健全度



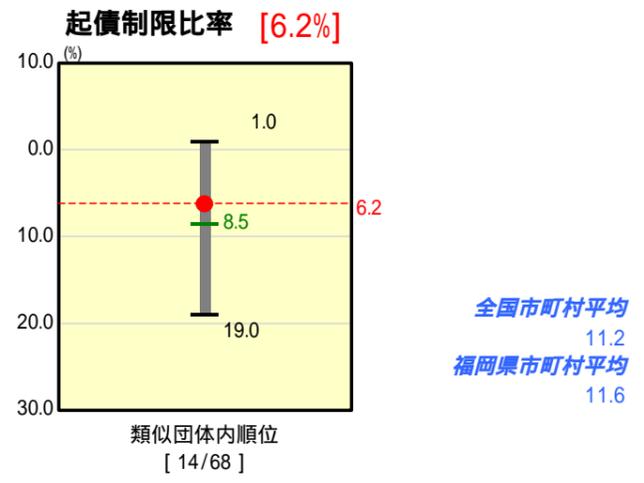
### 財政構造の弾力性



### 給与水準の適正度 (国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度

